

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年10月1日				
ディグ・スマイル前橋南教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		室内の環境を工夫して、安心・安全を取っています。 楽しく取り組めるようにスペースの確保の工夫をしています。 扉を施錠することで、走ったりぶつかるリスクを減らすことが出来ています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		職員がお子様全員を見守れるように配置をしています。	人員が足りず、事故やヒヤリハットが起きることもあります。 送迎が重なると、教室内の人員が少ないときがあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		環境整備をしたことで、職員間で連携が取れるようになりました。 心地よく過ごせるように、おもちゃの確保、机・椅子の用意が出来ています。	音の反響があり、声が響いてしまいます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて、個別の部屋を確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		朝会等で引継ぎ、目標設定をしていますが、支援当日になるとコミュニケーションの数が減ってしまうため、もっと増やせるように検討して参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員全体で話し合う場面を設定し、改善方法の模索等を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝礼・終礼時に意見を発言できる場面を作ったり、随時会議等を開き共有が出来ています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		第三者による外部評価は実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		会社全体で、職員の研修機会を設けられています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		HPにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		その時のお子様の様子や環境変化等を確認し、適宜目標設定をしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童発達支援管理責任者・専門職員・指導員含め、検討会議を開いています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		都度共有をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	朝会の際に、前日のお子様の様子を話し合う時間を設けています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		お子様の特性に合わせて、難易度を調整しています。 一つのプログラムにしても、やり方を都度変更しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		チームで立案し、適宜声掛け・配置を変更しつつ実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		お子様の特性に合わせて、難易度を調整しています。 一つのプログラムにしても、やり方を都度変更しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別支援・集団支援の内容を組み合わせで計画作成、プログラムを組んでいます。 座席・スケジュールをお子様の様子によって変更や組み立てをしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	相性等を考慮して、配置をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	送迎終了時、次の日の朝礼時に共有出来ています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		個別記録を作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		相談支援事業所との連携を図り、見直しがある際には個別支援計画を更新しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	1	プログラムに取り入れられています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		正しい意思決定が出来るように支援しつつ、お子様本人の意見を尊重しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が都度出席をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	学校・他事業所等との連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		その都度連携を取っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	利用の際に、連携を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		まだ取り組み自体が少ないです。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	休日に児童館に行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		参加機会がありません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		その都度連携を取っています。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		情報共有や保護者様等が参加できる研修機会がまだ少ないです。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約前・契約時・利用時に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		園での様子、保護者様のニーズ、お子様の特性を鑑みて作成をしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		全ての保護者様に説明・同意を頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	定期的には実施出来ていませんが、保護者様からのご依頼があった際には、日程調整を行い面談を実施しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3		職員と保護者様の交流が少ないと感じています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情があった際には、事実確認を行い、保護者様への説明、改善報告を行っております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		施錠が出来るキャビネットにて保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個人情報等に注意しながら伝達を行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルの閲覧が出来ます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		期間を設定して、訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に発作等があると伺ったお子様について、職員へ共有し、対応方法を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギー同意書を保護者様にいただき、確認等を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		作成し、安全管理を行いつつ支援をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		保護者様等に周知が来ています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			朝礼・終礼時に共有をしています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		委員会を設置しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束を行う際には、検討会議を開催し、保護者様への説明・同意を頂いております。	